

京都品質工学研究会のご案内

品質工学とは、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする、汎用性の高い技術方法論です。安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として、様々な技術分野や開発プロセスで活用され大きな成果をあげています。

今回、平成24年1月13日に開催しました「品質工学講演会」の報告と、平成24年度品質工学セミナー及び京都品質工学研究会についてご案内します。

品質工学講演会(平成24年1月13日)の報告

「『技術者の思考力を強化する』品質工学 ～モノ・コトの見極めに革命を～」

品質工学会 名誉会員、関西品質工学研究会 顧問 原 和彦 氏

品質クレームが頻発している日本企業のものづくりを「危機的状況」と認識し、その背景にある「プロセスよりも結論を急ぎすぎる」「モノを作ってから品質を考える」という“二値的文化”から脱却する必要があることをお話いただきました。品質工学では「モノを作る前に、品質や安全を考える」ことが大切と主張しており、技術者が「モノ・コトの見極め」に品質工学を利用することで「真値」を追求でき「見えない品質」が予測できるなど、技術者の軸となる考え方について丁寧にお話いただき、深い感銘を受けました。



原 和彦氏ご講演

「化学材料の製品開発における品質工学の活用事例」

東亜合成株式会社 R&D総合センター R&D支援室 品質保証グループ 主査 森 泰彦 氏

東亜合成株式会社の品質工学の取り組みと、化学材料の製品開発について「機能の定義」と「評価の工夫」を中心に事例紹介をいただきました。化学材料の特性を考えて適切な評価を行うことで効果的・効率的な製品開発に成功した事例を伺い、特に化学関連企業にとっては大変参考となる品質工学の活用事例を学ぶことができました。化学材料の製品開発における品質工学の活用については、京都品質工学研究会でも議論・研究を重ねていきたいと考えています。



森 泰彦氏ご講演

平成24年度 品質工学セミナーのご案内

中小企業の技術・品質部門の管理者、技術者向けに、品質工学を活用した技術開発・製品開発の革新についての講義を行います。奮ってご参加ください。

テーマ：「品質工学の実践による技術開発・製品開発の革新」

内容：講演(1)：「シマノの技術開発・製品開発と品質工学」(仮題)

(株)シマノ 太田 勝之 氏

講演(2)：「品質工学を実践する上でのポイント」(仮題)

コニカミノルタテクノロジーセンター(株)

芝野 広志 氏

日時：平成24年5月18日(金) 13時30分～17時00分

場所：京都府産業支援センター 5階研修室

対象：企業の技術・品質部門の管理者、技術者

参加料：無料

京都品質工学研究会の会員を募集しています!

京都品質工学研究会では、品質工学を活用した開発業務の革新・効率化を目指す企業が集まり、品質工学など開発スキルの相互学習、実際の開発課題への適用についてディスカッションを重ねています。初心者向けの教育支援が充実している点も、京都品質工学研究会の特徴の一つです。また、平成23年度より継続研究テーマとして「スペクトル解析」「化学分野での応用」を取り上げて共同研究を進めています。

技術開発・製品開発の改善・効率化を目指す方々のご参加をお待ちしております。

〈京都品質工学研究会 平成24年度活動計画〉

活動期間：①定例会(毎月第2金曜の午後、ただし6月定例会は6月7日(木))

②基礎学習会(6月21日(木)10～17時、新規会員・初心者向け)

③講師による個別課題相談(各定例会開催日の午前)

講師：各定例会に外部講師を招聘します

(コニカミノルタテクノロジーセンター(株) 芝野 広志氏

(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏らを招聘予定)

年会費：法人会員 1社2名まで40,000円

(追加1名につき15,000円)

※個人会員 1名 20,000円での参加も可能。詳しくは

お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497

E-mail:qe@mtc.pref.kyoto.lg.jp